

2014. 4. 22

NPOフォーラム・だより No.59



NPO法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp/ ★各事業の詳細はHPをご覧ください。

会員・寄付募集中! ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

会費入金のお知らせ

当NPOでは、総会決議権を有するA会員(年会費 2,000 円)と情報共有するB会員(1,000 円)の2種区別があります。昨年度、無記名の振込が2件ありました。お心当たりの方はお申し出ください。(5/9=1,000 円、3/29=2,000 円) 前年会費未納の方は、新年度分と合わせて上記口座へ入金をお願い致します。A会員総会は6月22日(日) 予定です。

NPO10周年、赤山開壕10周年で、
とても嬉しいお知らせです。
会員の皆様の努力の賜物です。
これを励みとして、さらに
よりよいまちづくりを進めましょう。

房日新聞 2014年(平成26年)4月9日(水曜日)



感謝状を受けたNPOのメンバー＝赤山地下壕前

安房文化遺産フォーラムに感謝状贈る

赤山地下壕ガイド10年の功績

館山市は6日、館山海軍航空隊赤山地下壕跡Ⅱ同市指定史跡Ⅱのガイド活動など、戦争遺跡の保存と活用を通して市の文化活動に貢献しているとして、NPO法人安房文化遺産フォーラム(愛沢伸雄代表)に感謝状を贈った。

赤山地下壕は平成16年4月1日から一般公開され、今年で10年となる。同NPOは、当初から見学者に対し同地下壕のガイドを続けている。感謝状の贈呈は、同地下壕に隣接する豊津ホールで行われ、金丸謙一市長は「地下壕を整理することから始まり、苦勞をしながら多くの人が訪れるようになった。みなさんのおかげ。今後も尽力いただきたい」と賞状を手渡した。

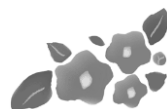
愛沢代表は「ガイドを始めたころは、これほど盛り上がるとは思っていなかった。このような感謝状を受け本當にうれし」と語り、この日集まった21人の会員と共に10年の歩みを振り返っていた。

ツバキ剪定教室 in 椿の里・小原家庭園

◎ 4月28・29日(月・火) 9:30~12:00 椿の里・小原家庭園(村上宅)

ガーデンガーデンパーティでお世話になった椿の里・小原家庭園は、先代の小原謹治が世界的な研究者でした。700種を丹精込めて育て、新種改良も「布良」「相浜」など10種にのぼるといふ。美しい開花期が過ぎると剪定の好機であるため、樹木医資格をもつ齊藤陽子さんから剪定を学び、実習を行なう。地域遺産としてまちづくりに活用する可能性を考えてみよう。

- *持ち物＝剪定バサミまたはノコギリ、草刈機 など。軍手、手ぬぐい、帽子、飲料水
- *参加費＝NPO安房文化遺産フォーラム会員は無料。非会員はご入会ください。



【申込書】 FAX:0470-22-8271 TEL090-6479-3498	連絡先	4/28	4/29
氏名			

知恵袋講座：娘が語る元落下傘兵の版画家・秋山巖

◎ 5月27日(火) 13:30~16:00 小高記念館 語り手：町田珠実さん

山頭火やフクロウの版画家として知られる秋山巖画伯は、海軍初の落下傘部隊員として1941(昭和16)年9~12月に館山海軍航空隊で降下訓練を受け、12月に台湾を経て、翌年2月にティモール島クーバン奇襲攻撃に参加。'43年には館山海軍砲術学校で陸戦訓練を受けて南洋に赴き、サイパンで終戦を迎える。従軍中も得意の絵を描いて注目され、戦後は太平洋美術学校で坂本繁二郎に師事、後に棟方志功の門下生となり、棟方を見出した柳宗悦や河井寛次郎らの薫陶も得ている。墨絵の印象に近い作風が高く評価され、イギリス大英博物館にも所蔵されている。長女の町田さんから話を伺う。



Heritage まちづくり講座：青木繁「海の幸」記念碑を設計した建築家・生田勉

◎ 6月5日(木) 15:00~16:30 富崎小学校体育館 講師：山下 泉(多摩美術大学名誉教授)



青木繁の没後50年に記念碑を制作した東京大学教授の生田勉は、国立西洋美術館を設計したル・コルビジエなど西欧の現代建築や思想を紹介した日本の代表的な建築家であり、文明評論家ルイス・マンフィールドを翻訳した哲学者でもある。1961年布良に開業した館山ユースホステルの設計者であり、廃業に伴い解体されたことは残念であったが、同時に設計された青木繁記念碑は、一高同期で親交が深かった詩人であり建築家の立原道造の「石柱の詩」がイメージソースのひとつとなったといい、重要な文化遺産である。女婿にあたる山下名誉教授自身も、館山市立九重小学校を設計している。同日、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会の会員総会も開催予定。

房日新聞2014. 4. 18

「海の幸」描いた小谷家住宅



館山



当時の姿に復元される小谷家住宅＝館山

保存活動で資金ねん出

工期2年 完成後に一般公開

小谷家住宅は明治期に建てられた木造瓦葺きの

近代日本美術史で最も著名な洋画家の一人、青木繁が代表作の「海の幸」を描いた館山市布良の小谷家住宅を当時の姿に復元し、一般公開するための工事がスタートする。小谷家と同居住宅の保存活動を展開する2つの市民団体が15日、記者会見で明らかにした。工期は27年12月までで、翌28年4月に公開を始める計画という。

平屋。明治37年夏、東京美術学校(現東京芸術大学)を卒業して間もない青木が友人を伴い滞在し、海の幸を描いたことは広く知られている。

「小谷家なくして海の幸の誕生はなかった」として、小谷家の小谷福哲(ふくあき)さん、地元呼びかけで発足した青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会、日本美術界の有志でつくるNPO法人青木繁「海の幸」会の3者が、保存・公開に向けた活動を展開。平成21年10月に同居住宅は市の有形文化財に



記者会見で経緯を説明する小谷福哲さん(右)

指定された。同NPOの積極的な支援をはじめ、館山市が予算化した文化財修理補助金とふるさと納税を活用した支援基金の補助金により、全体事業費4602万円のうち2660万円のめどが立ったとして、工事に着手する運びとなった。

工期は2年で、まずは現在も同居住宅で生活する先代夫婦の転居先として、隣接する倉庫を増築。その後、傷みの激しい屋根を解体して修復し、昭和40年ごろに建て増した西側の台所や風呂などを撤去して、建築当時の姿に戻すという。

「目標額の半分のみだが立ち、修復工事に着手することになった。多くのおみなさんからの協力をいただき感謝したい。わが家を青木繁の『海の幸』誕生の家として後世に残せることを光栄に思う」と福哲さん。

保存する会の嶋田博信会長は「念願の工事が始まる。一般公開で全国から大勢の人が訪れ、布良がにぎやかになってくれれば」と、期待を膨らめる。海の幸会の吉岡友次郎事務局長は「まだまだ資金的には苦しいが、修復・公開に向け動き出している」と話していた。

◎小谷家住宅の保存・活用基金は「館山ふるさと納税」を通じて、引き続き募金のご協力をお願いします。

■ 赤山地下壕跡ガイドサービス

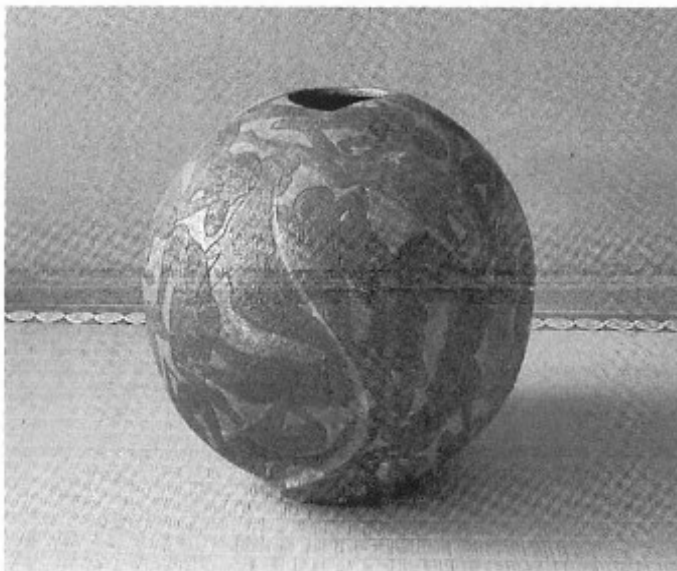
◎ 5月3・4日(土・日) 9:30~12:00 受付:豊津ホール

館山を代表する戦跡。通常、10名以上の団体を事前予約で有料ガイドを実施しているが、毎月第一日曜午前のみ、個人・小グループ向けに無料ガイドをおこなう。GWのため、前日の憲法記念日にもおこなう。但し、入壕料は各自払い。(NPOガイドスタッフは減免無料)

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- 4月29日(火) 15:30~16:30 昭和女子大学付属高校1年=座学(館山寮)
- 4月30日(水) 9:00~12:00 " 226名 =赤山のみ
- 5月 3日(土) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 5月 4日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 5月25日(日) 11:00~14:00 富士・富士宮年金者組合 45名=赤山
- 5月29日(木) 10:00~16:00 俳人協会千葉県支部 10名=座学・赤山・かにた・布良
- 5月29日(木) 10:00~14:00 藤沢市御所見地区民生・児童委員 30名
- 6月 7日(土) 14:40~16:40 中央学院大学法学部:現代社会と法コース1年 25名=座学
- 6月 8日(日) 8:30~15:00 " =北下台・赤山・かにた村・大巖院
- 6月12日(木) 目黒学院高校3年 80名
- 6月21日(土) 13:00~17:00 全印総連東京地連女性部 20名=座学・赤山・かにた村
- 6月27日(金) 10:30~16:00 神奈川県私鉄労組青年部 20名=座学・赤山・かにた村

ガイド学習
を兼ねて、
スタッフとして
同行歓迎です。



笹子さんが制作した「心包む」

光風会展で7年連続入選

志野焼きの
オブジェで 館山の笹子さん

全国から絵画や工芸作
品を集める公募展「第1
00回記念光風会展」で、
館山市上真倉の笹子三喜
男さん(55)の志野焼き
のオブジェ「心包む」(高
さ45センチ)が入選した。昨
と呼び、悲惨な女性の人
生を真つ向から受け止め
生を真つ向から受け止め
館山にすこい男がいたこ

房日新聞 2014.4.17

NPO会員の笹子さん、
おめでとうございます。

多摩美術大学多摩芸術
学園で陶芸を学び、家業
の木工所を継ぎながら自
宅に「海山坊窯」をかま
え作陶に励み、陶歴は35
年。笹子さんは「たくさ
んつくるより、これはと
いえるものを仕事の合間
につくっている。今後も
メッセージのある作品を
つくっていきたい」と話
していた。

光風会公募展は、今月
29日(22日は休館)まで東
京・六本木にある国立新
美術館で開かれている。

* かにた婦人の村のボランティア募集 *

- バザー 5月30日(金)31日(土) 8:30~12:00
販売・駐車場係などのお手伝いです。
- 草刈り 6月4日(水) 8:30~12:00
草刈機のある方は持参をお願いします。

* 安房西高校JRC部ウガンダ支援バザー *

- 6月29日(日) 10:00~15:00
20周年を迎える高校生のウガンダ支援活動は、
安房西高校JRC部に引き継がれ、文化祭で文具の
バザーを実施します。一般来場者も歓迎!

東京から40人が墓参ツアー

資生堂創業者の福原有信90回忌で 館山



福原家の墓所がある小塚大師を参拝した研究会メンバー＝館山

館山市(旧松岡村)出身で資生堂創業者の福原有信の没後90年の命日にあたる3月30日、東京・中央区の「小塚大師研究会」のメンバー40人が墓参ツアーで同市を訪れた。地元のNPO法人安房文化遺産フォーラムの池田恵美子さんがガイドとなつて、中央区と館山のつながりなどの歴史文化を紹介した。

中央区月島で電気店を

営む保田清さんは旧制安房中学(安房高校)の出身で、関東厄除け三大師のひとつである小塚大師をもっと多くの人に知ってほしいと願い、月島周辺の町内会に呼びかけ、元区議の矢吹和重さんとともに幹事となつて同研究会を発足。これまでも小塚大師の参拝を実施しているが、今回は、同じ中央区の銀座で資生堂を創業し、関東大震災の復興にも尽力した福原の90回忌参拝とともに、その遺志を受け継ごうという趣旨でツアーが企画された。

一行は福原の長女・と

りが嫁いだ市内の館山病院で、初代院長・川名博夫、その女婿である2代目院長・穂坂与明、川名のおいで3代目院長の川名正義の銅像を参拝。同院健康友の会の諫川正臣会長から、転地療養していた画家の中原淳一について紹介があった。福原のふるさと松岡区では、福原家分家の福原勇さんと早川萬専区長ら「福原有信を語り継ぐ会」の歓迎を受け、福原が明治44年に鳥居を奉納した松岡八幡神社を見学。小塚大師では、法話と護摩たきの後、本堂裏の墓所を参拝。墓石は「福原之墓」とされ、先祖代々の戒名と命日、俗名、出身地などが刻まれ、福原有信と妻・徳の名もある。その後、休暇村で昼食交流会があり、親睦を深め

た。

池田さんらの案内を聞いた参加者らは、「知らないことばかりで感激した」「今日来られなかった町内会の人たちにもぜひ紹介したい」と言っていた。なかには布良や千倉など安房地域出身の参加者もあり、「先祖のことも改めて知ることができた」と喜んでいった。

●小塚大師 とは

嵯峨天皇の弘仁6年(815年)に、弘法大師が創建したと伝えられる真言宗寺院、正式名は曼陀羅山金胎寺遍智院という。館山市神戸地区大神宮の字小塚にあって、弘法大師を本尊にしていることから、俗に小塚大師の名で親しまれている。関東厄除三大師のひとつとして、毎月21日のお大師様の縁日には参詣者があり、特に旧暦の正月にあたる1月21日の初大祭には、たいへんな賑わいとなる。

弘法大師がこの地に滞在したときに、大師の木像を刻むようお告げを受け、二体の像を彫って、一体は小塚の地に祀り、もう一体を布良崎の浜から流したところ、今の神奈川県に流れ付き、川崎大師(平間寺)の本尊になったと伝えられている。